

明るく元気の出る町

平成12年11月1日発行・毎月1日 編集・発行／秋田県東由利町企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

2000

11

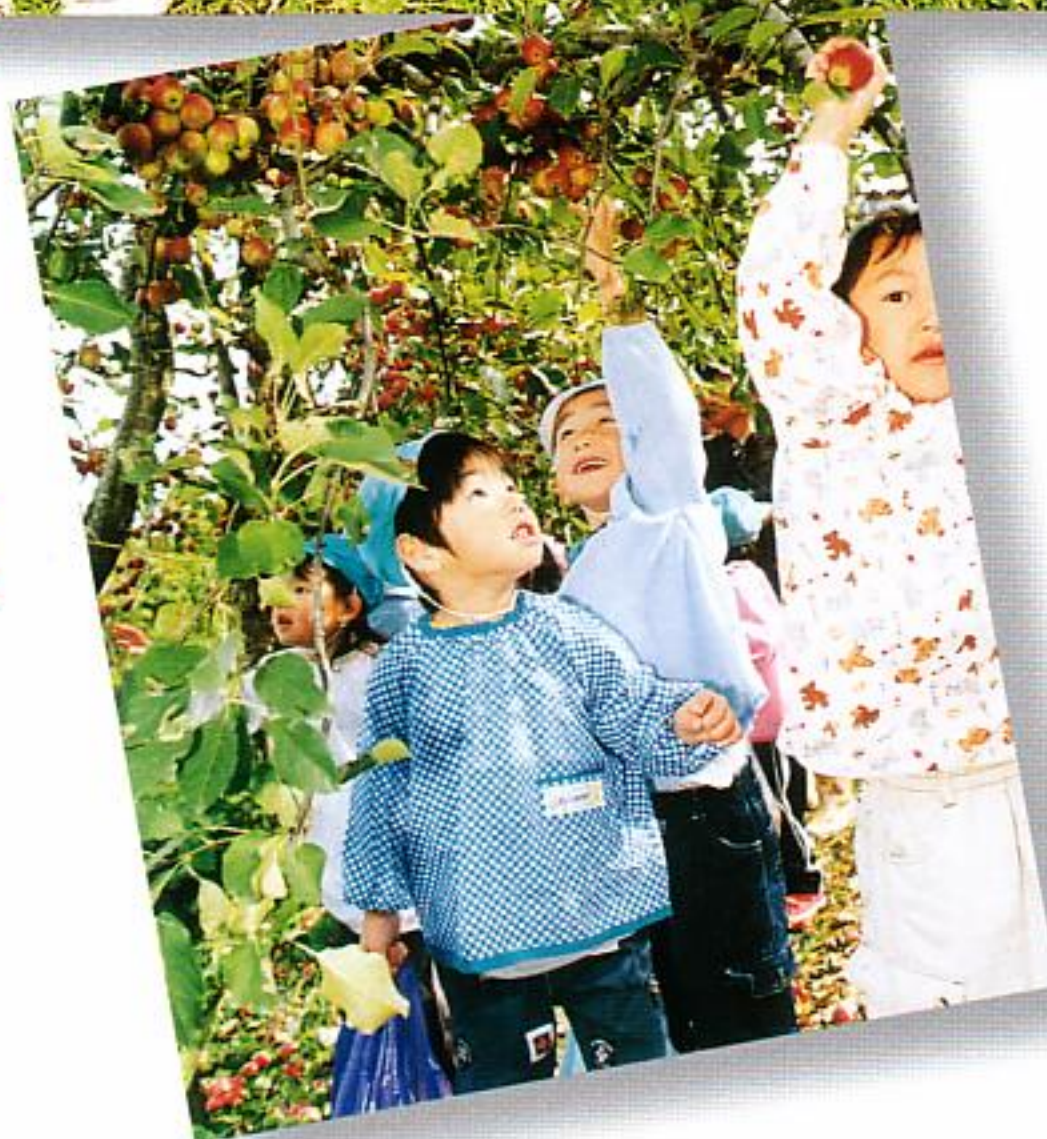
NO.548



小さくて
おいしい秋
見つけたよ



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」



ちよつとへんごい寒へても入っちゃら
子供は風の子、寒さに負けず元気にりんご狩り
(関連記事12ページ)

功労者に小松民三郎氏

平成十二年度町功労者表彰式

九月二十五日に開かれた町功労者選考委員会で、平成十二年度町功労者に小松民三郎氏（下小路）、東由利町まちづくり奨励賞に小松幸子氏（中通）がそれぞれ選ばれました。また、梅津榮一氏ほか五名の元町議会議員には自治功労章が授章されることになりました。

表彰式は十一月一日、約二二〇人の関係者が出席し町民体育館で行われました。

また、同日は、平成十年度から本年までに完成した事業の合同竣工式も行われ、事業協力者と共に施設の完成を祝い合いました。

基幹産業の発展と町勢推進に尽力されました

昭和二十四年、玉米農業協同組合に勤務し、当時の蓮池公咲県知事や根本龍太郎代議士を介し、東北農政局に足を運び一市四町村石沢川流域約七二五ヘクタールを受益面積とする灌漑用八塩ダムの築堤工事の実現に奔走し、県営事業としての採択にこぎつけたほか、葎沢地区の圃場整備事業を先駆的に手掛けるなど、土地改良の事業を主体とした農業生産基盤の整備に専心努力されました。

昭和四十七年五月、町助役に就任。これまで培ってきた経験を發揮し、黒淵・田代・館合・老方地区等四〇〇ヘクタール余りの県営圃場整備事業に取り組み一方、松沢・石高地区にタバコ生産団地の開畑をすすめ、本町の基幹産業の基盤づくりに力を注がれました。

また、根小屋線をはじめ多くの町道改良整備、有鄰館・公民館等の集会施設の建設、東由利水道の事業化等に取り組み、産業・道路網整備・文化・民生全般にわたる町勢の伸長の発展に寄与されました。

東由利町功労者



小松民三郎氏

大正9年6月19日生(80歳)

東由利町館合字前田18番地

自治功労者



梅津 榮一氏

昭和11年2月10日生
東由利町宿字大琴24番地

東由利町議会議員
昭和55年7月23日
～平成12年7月22日(20年)
議会役職
副議長、産業建設・教育民生
常任委員長



佐藤 智治郎氏

昭和14年5月27日生
東由利町館合字八日町40番地

東由利町議会議員
昭和63年7月23日
～平成12年7月22日(12年)
議会役職
総務・教育民生常任委員長



佐藤 萬一氏

昭和8年10月7日生
東由利町蔵字蔵89番地

東由利町議会議員
昭和63年7月23日
～平成12年7月22日(12年)
議会役職
教育民生常任委員長、広報
委員長、庁舎建設調査特別
委員長



小松 悌之助氏

昭和17年7月1日生
東由利町老方字老方15番地2

東由利町議会議員
昭和55年7月23日
～昭和63年7月22日
平成3年8月5日
～平成12年7月22日
(通算16年11月)
議会役職
教育民生・産業建設常任委
員長、議会運営委員長



渡辺 清一氏

昭和6年8月15日生
東由利町田代字畑中36番地

東由利町議会議員
昭和55年7月23日
～平成2年3月20日(9年8月)
議会役職
教育民生常任委員長



高沢 忠氏

昭和16年8月20日生
東由利町黒淵字森ノ越92番地

東由利町議会議員
昭和63年7月23日
～平成12年7月22日(12年)
議会役職
産業建設・総務常任委員長

本年度町

まちづくり奨励賞



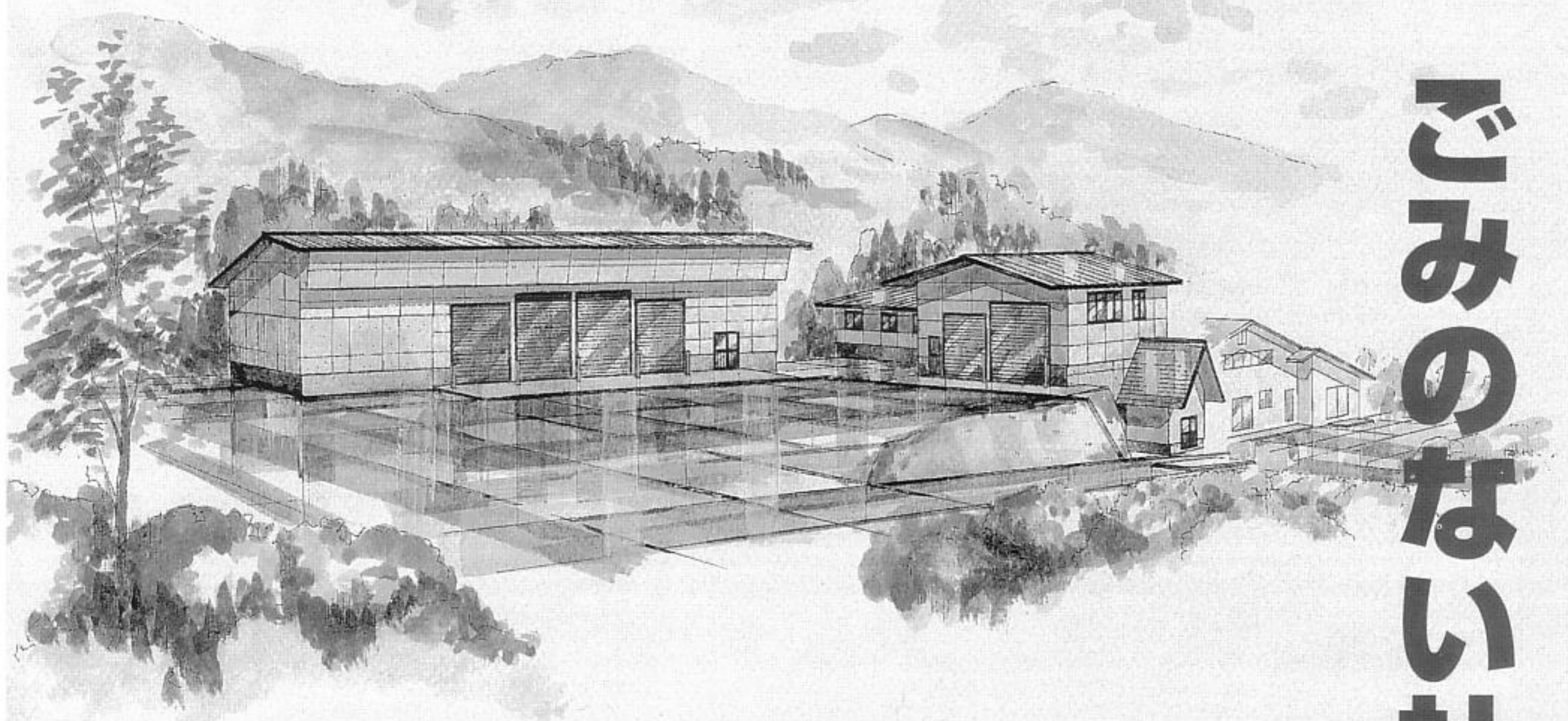
小松 幸子氏

大正14年7月2日生(75歳)
東由利町老方字老方39番地

芸術文化の振興に寄与されました

昭和五十五年、益子焼の窯元であ
る大塚三郎氏(大曲)に師事し陶芸
を学んだ後、昭和六十年に県展入賞、
平成二年に陶芸サークル「耀幻会」
を結成し会長を務められ、平成六年
から本年まで連続して県展入賞を果
たされました。今年で二十四回を数
える「全県野焼きを楽しむ集い」の
町内開催(町公民館主催・耀幻会主
管)に奔走し、その運営と指導を精
力的に務められる一方、少年少女サ
ークル事業等とおして子供達に陶
芸の楽しさを指導するなど、町民の
陶芸技術の普及と向上に努め、本町
の芸術文化の振興に寄与されまし
た。

資源化施設 平成13年4月より稼働



ごみのない社会を目指して

21世紀のテーマはリサイクル

二十一世紀に向けたごみの問題意識が高まっている中、平成九年四月に「容器包装リサイクル法」が施行されました。この法律により、飲み物や洗剤などに使用されるペットボトルがごみではなく原材料として見直されます。

また本荘市由利郡においても、ゴミ問題とリサイクルの緊急な課題に向け、広域的な問題解決の検討をしてきました。その結果、わが町に広域利用の資源化施設が建設されることになりました。この施設は、今年九月に建設工事が発注されており、平成十三年四月一日から稼働する予定です。

平成九年度から「容器包装リサイクル法」が施行され、ごみゼロの社会に向けての取り組みが始まりました。秋田県ごみ処理広域化計画の策定要領が示されたことに伴い、本荘由利ごみ処理広域化検討委員会を設置し、今後のごみ処理を総合的に検討しました。

その結果、本町の元森林組合加工所跡に資源化施設を整備し、本荘市を含む八町（岩城町、由利町、大内町、西目町、東由利町、仁

賀保町、金浦町、象潟町）で利用することとなりました。これを受けて、本町では今年六月十五日に、横渡自治会の皆さんに施設についてご理解をいただくための説明会を開催しました。

分別収集品目は、ビン類（無色ビン、茶ビン、その他ビンの三種類）、ペットボトル（PETのマークのついているもの）、及び紙類（新聞紙、段ボール、雑誌等）です。搬出方法は、ビン類は三種類に分けて資源化

物用の袋に、紙類はそれぞれに分けて紙ひもではって、地域のごみステーションへ。空き缶類は従来どおり燃えないごみの袋に入れて出すこととなります。

建設事業は今年十二年九月に着工しています。施設には事務室、重機庫、ストックヤード等があり、広域的な利用計画のもとに平成十三年四月一日より稼働します。なお、施設では水を使用しないため、汚水が出ることはありません。



ごみの出し方

資源ごみ



燃えるごみ

- ◎生ごみ類は水分をよく切る。
- ◎食用油は布、紙にしみこませる。
- ◎金属等が付いているものは、金属等はずす。
- ◎庭木類、発砲スチロール類は指定袋に入るぐらいの大きさにする。



燃えないごみ

- ◎ガラス片、刃物は紙に包んで指定袋に入れる。
- ◎スプレー容器は使い切ってから穴をあける。
- ◎傘は別に束ねて出す。

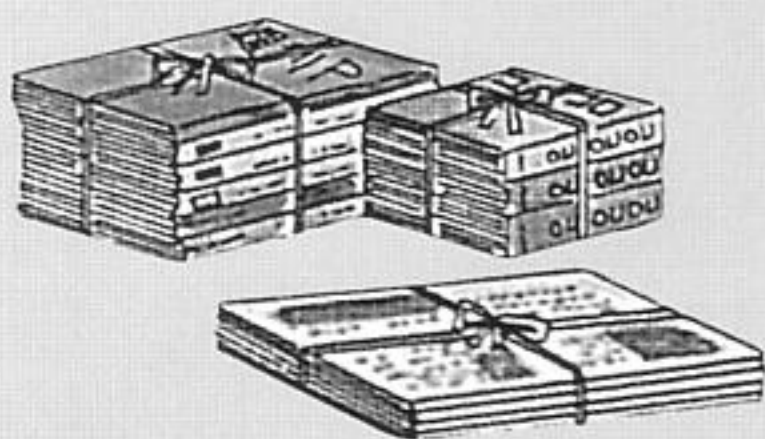
今までどおり燃えないごみへ



空き缶類

- ◎スチール、アルミは、缶の中身を全部出す。
- ◎異物（たばこの吸い殻、ストロー等）を取り除く。
- ◎水洗いをする。
- ◎燃えないごみ袋に入れて出す。

資源化施設へ運ばれます



紙類

- ◎新聞紙（チラシを含む）雑誌、段ボール（80センチ四方の大きさにする。）の三種類に分けて紙ひもで束ねて出す。



ビン類

- ◎三種類（無色、茶色、その他）に色分けし、燃えない資源ごみ用の指定袋に入れて出す。
- ◎ビンの中身は全部出す。
- ◎異物（たばこの吸い殻、等）を取り除いて出す。
- ◎キャップや金属等を取る。
- ◎水洗いをする。
- ◎化粧ビン、ガラス食器ビン、農薬ビン劇薬ビンは燃えないごみへ出す。



ペットボトル

- ◎キャップや金属等を取る。
- ◎水洗いをする。
- ◎出来るだけ容積が少なくなるように足で踏みつぶして、資源ごみ用の指定袋に入れて出す。

職員の不祥事をおわび申し上げます

昨年十一月、東光苑で発覚した臨時職員による詐欺横領という不祥事で、町内外の多くの皆様にご心配とご迷惑をおかけいたしました。全職員一丸となって再発防止に取り組み、緊張して来たところではありますが、残念ながらこの度、産業課所属の一職員によって家畜人工授精運営委員会が管理する肉用牛産肉能力平準化推進基金の一部が着服されるといふ不祥事が発生してしまいました。

臨時職員を含む百二十四名、全職員挙げての綱紀粛正への取り組みが十分功を奏せず、再び町内外の皆様への行政不信を募らせる結果になりましたことに忸怩たる思いと、昨年来の信頼回復の努力が無残に裏切られた結果に、やり切れない思いで一杯であります。

改めて町民皆様を始め関係各方面に深くお詫び申し上げますとともに、発覚からの経緯についてご報告させていただきます。

肉用牛産肉能力平準化推進基金は平成九年に町と合併前の東由利農協がそれぞれ二百五十万円ずつを負担し合い、五百万円の基金を創設して畜産農家のための優良精液確保に運用して来ているものであります。この事務局を産業課が担当して来たものであります。

この基金からは年間二回程度、JAから精液代の請求を受けた時点で、農家に代わりまとめて支払いをするというのですが、本年九月の支払い時点で残高が合わないことが

判明、内部調査を行った結果、担当であった課長補佐の着服が判明したということであります。

着服額は合計二百六十六万一千三百五十一円で、今年の三月から六月にかけて計十二回にわたり基金から引き出されていたものであります。本人もそれを認め、全額返済の上、退職願いを提出したことであります。

町では動機や背景、その他の各会計諸帳簿等に至るまで十分な調査を行った上で、本人を諭旨免職に、直接監督する立場にあった産業課長並びに前産業課長を訓告の処分にしたところであります。以上が今回の不祥事の顛末概要であります。

東光苑で起きた不祥事の信頼回復のため、全職員一丸となって取り組んでいた最中に発生しただけに、理由は何であれ行政への信頼に拭いきれない大きな傷をつける結果となりましたことは、本当に申し訳なく心からお詫びを申し上げます。

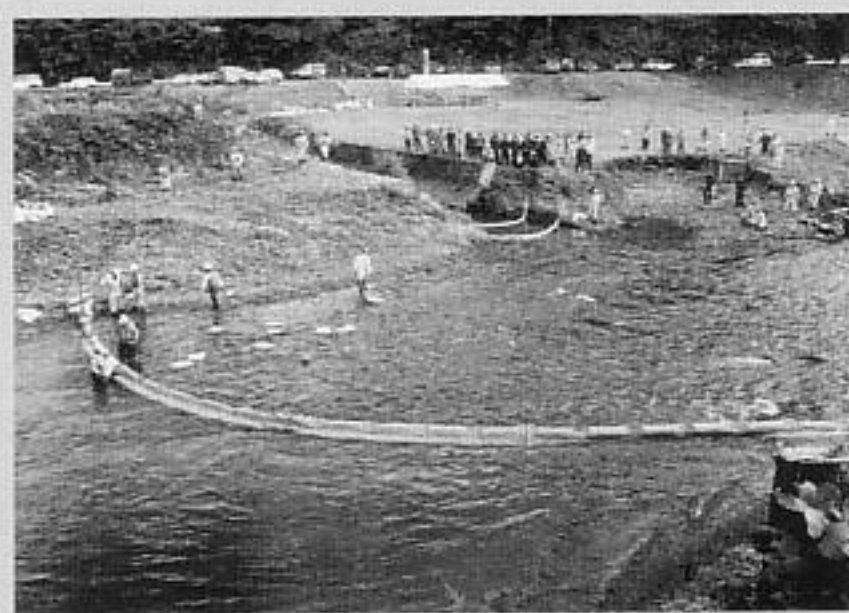
全職員に対し、改めて「公務員としての原点に立ち返り一人一人が毅然として信頼の回復に努めるよう」訓示も行い、信頼回復のために一から出直し全庁挙げてなお一層の努力をいたして参りますので、よろしくご理解の上、ご指導ご支援くださいますようお願い申し上げます。誠に申し訳なくお詫びとさせていただきます。

東由利町長 阿部 幸悦

石沢川で水質事故防止訓練

水質事故緊急措置演習

十月十九日、宿河川公園付近の石沢川で、水質事故緊急措置演習が行われました。



▲オイルフェンスで油を防ぎ吸着マットで回収し、油の拡散を最小限に食い止めるための訓練で、子吉川水系水質汚濁対策連絡協議会と町が行ったものです。

演習では、上流から流れて来る油を、オイルフェンスと吸着マットを使って回収する作業が行われました。

体育施設功労者に森川さんと大塚さん

秋田県体育施設協会会長表彰

九月二十一日、田代町で行われた秋田県体育施設研究協議会において体育施設功労者表彰式が行われ、本町体育施設に勤務していた森川九二男さんと大塚忠一さんが表彰されました。



森川九二男さん



大塚 忠一さん

森川さんは平成元年から十一年間、大塚さんは平成二年から十年間、町民体育館や勤労者野球場などの町内体育施設に兩名とも今年の三月まで勤務し、施設内外や周囲の環境整備に務めてこられました。長い間ご苦勞様でした。

新基本法により魅力のある農年制度へ

— 国庫助成金を投入し受給者負担圧縮 —

難航していた農業者年金制度改革の骨格が、8月24日、農業団体の要請により政治決着しました。

昨年12月の政府大綱案で平均3割とされた受給者の負担は、平均9.8%と大幅に圧縮され、このため多額の国庫助成金が追加投入されます。

現行の加入者・後継者に対してはいかなる世代において実質的に「掛け損」とならない年金水準が保証されます。



担い手育成に重点 ～積立方式に切り替え

農業者年金制度は、老後生活の安定、農業経営の若返りや規模拡大の推進など旧農業基本法の政策目的を達成するために創設されました。しかし、農業就業者の高齢化、若い担い手不足など農業構造の変化から、経営移譲が出来ない。加入者が減少し、加入者1人で受給者2.5人を支えている。保険料が高くなり負担が重い。など農政上、財政上の大問題に直面していました。

このため、制度を抜本的に改革して、魅力ある政策年金として再構築することになりました。

とりわけ担い手に魅力ある年金制度とするため、加入者などの変化に左右されにくい安定した制度を目指しています。このため財政方式は、これまで加入者の納付保険料で受給者の年金給付を賄う「賦課方式」から、将来受け取る年金財源を加入者自ら積み立てる「積立方式」に切り替えられます。

対象者を大幅拡大 ～3割を基本に若者には5割、保険料を助成

新基本法における担い手育成などの政策目標を達成するため、意欲ある担い手に思い切った政策支援を行います。

政策支援の対象者は、10年以上加入することが見込まれる「①認定農業者で青色申告者」、「②認定農業者と家族

経営協定を締結して経営に参画している配偶者・後継者」、「③これに準ずる農林大臣が定める者」、「④35歳未満の農業後継者で将来的に認定農業者で青色申告者になる予定者」などです。

こうした支援対象者に対する保険料助成の割合は、基本保険料（1口月額2万円）の3割『6千円』が基本とされました。また、35歳未満で支援対象者①及び②の者の保険料助成は5割『1万円』、③と現行加入者で3年経過措置対象者は2割『4千円』となります。

支援期間は、35歳以上は10年間を上限とし、35歳未満の若い農業者は全期間を対象に最大20年間の支援を受けられます。

実質掛け損は回避 ～特例配偶者には期間加算

新制度発足時に55歳未満の者の年金額は、政府大綱案では老齢年金単価に引き下げられ、納付済み保険料を下回る『掛け損』が生じる、と大きな問題となりました。

農業団体は『掛け損』は絶対に認められないと、政府・自民党に強く求めました。最終的には、加入者・待機者が現行制度の下で納付した保険料について、いかなる世代でも実質的な『掛け損』とならない年金水準を保証することとなりました。

95年（平成7年）改正で、農地をもたなくても加入が認められた配偶者（女性）である「特例配偶者加入者」

に対しては、加入期間が短いことに配慮し、保険料納付済み期間の3分の1を年金の算定期間に加算する特別な措置が講じられます。

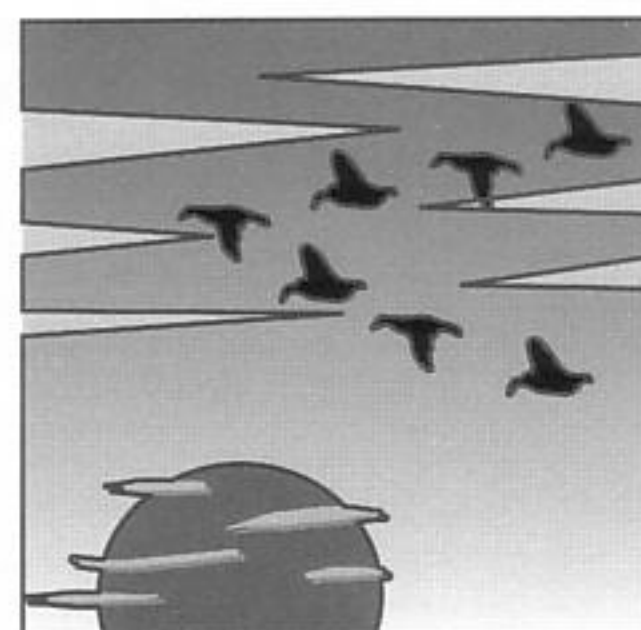
負担は大幅に圧縮 ～追加の国庫助成は765億円

受給者への措置では、受給者の負担を『平均9.8%』と大幅に圧縮することで決着しました。このために必要な追加国庫助成は、765億円となります。

農業団体の要請を受け自民党は、新制度に移行するうえで、受給者にも最小限の負担は求めざるを得ないとして、最大限の圧縮に向け、政府とギリギリの調整を続けました。

こうした年金水準の調整では、厚生年金など他の公的年金制度における給付水準の調整の状況も、参酌されました。

なお、老齢年金のみの受給者の年金は削除せず、その他の経営移譲年金の受給者は世代間の負担と給付のバランスに配慮して、削減率に若干の傾斜をつけて調整されています。



素晴らしい歌声に今年も感動

第8回ひがしゆり音楽祭

本町が生んだ偉大なる音楽家、小松耕輔・三樹三・平五郎・清四兄弟の業績を偲ぶ「第八回ひがしゆり音楽祭」を、十月二十九日東由利中学校体育館で開催しました。

今年も町内から二、本荘市由利郡内から五グループのほか、町内の保育園児、小・中学校の児童・生徒ら

六百余人余りが参加、観客の数も二百人を超えました。

オープニングでは東由利中学校吹奏楽部が「ロマネスク」(スウェーデンの作曲)を披露、息のあった素晴らしい演奏に会場から大きな拍手が贈られました。

主催者、来賓のあいさつに続き、町教育委員会が小松兄弟の曲を収録し製作したCD「東由利のうた」の完成を報告。阿部町長が参

加した各団体、グループに一枚ずつをプレゼントしました。

▲観客を感動させた全員合唱

引き続き第一部を開演。みどり・永慶保育園児が「お菓子の汽車」(小松耕輔作曲)など二曲、八塩・高瀬・大琴小児童が「百舌鳥」(同)など二曲、東由利中学生が「母」(同)など三曲を披露し、いずれも練習の成果を出した美しい歌声を会場に響かせてくれました。



▲会場には参加者、観客合わせて800人が詰めかけた

第二部には七コーラスグループが出演。地元からはコール・ゆらりが「さみだれ」(小松耕輔作曲)など三曲を、コール・黄桜が「晩秋」(同)など三曲を披露しました。各グループとも小松兄弟の残した楽曲を組み入れて発表、それぞれに美しいハーモニーを聴かせてくれました。

ファイナーでは参加者全員で「四匹のお馬」(小松耕輔作曲)、「東由利町賛歌」(小松耕輔・豊島重孝作曲)を熱唱、特に東由利町賛歌では皆の声が一つになり、聴き入る人たちに大きな感動を与えていました。

「東由利のうた」CD完成

小松音楽兄弟の偉業を顕彰する事業として町教育委員会が同兄弟楽曲のCD盤化を進めていましたが、このほど完成しました。

収録は全十三曲。合唱は国立音楽大学(東京都)学生らによる「東由利記念合唱団」十四名です。指導者は豊島重孝氏(本荘市)で、豊島氏には同事業に終始一貫してご協力をいただいております。収録曲は次の通りです。



▲完成したCD「東由利のうた」

馬③ばあやのお里④汽車⑤風⑥さみだれ⑦母⑧芭蕉⑨高原の歌⑩由利小唄⑪玉米中学校校歌⑫高体連の歌⑬四季は輝く⑭東由利町賛歌

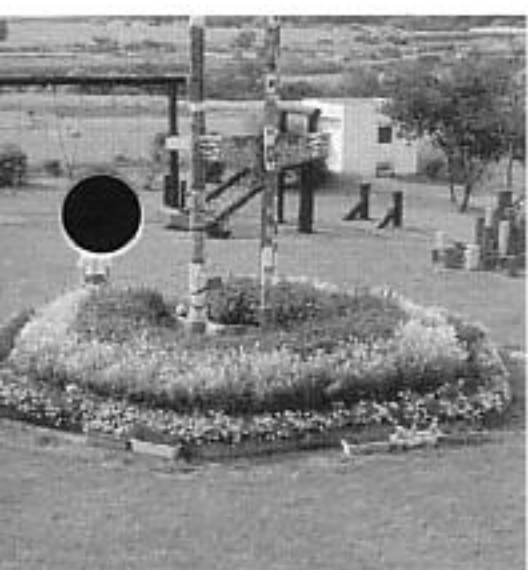
全県花だんコンクール 高瀬小が優秀賞を受賞

平成十二年度全県花だんコンクール(秋田県主催)

の小学校の部で、高瀬小学校が優秀賞(一席)を受賞しました。

同校は町花だんコンクールで優秀賞を受賞、町教育委員会が全県コンクールに推薦していたもので、県下

多数の応募の中から特別優秀賞に次ぐ同賞に選ばれた



優秀賞を受賞した高瀬小花壇の一部

同校では児童・職員・保護者連携による花壇づくりを積極的に推進しており、日常は校務員の佐々木カツ子さんが管理、花の種類は十四種類に及び年間およそ五万円を経費に充てています。

十一月一日秋田県庁での表彰式には佐藤金市校長が出席。佐藤校長は「よりよい教育環境づくりの一環として花壇構成の一層の工夫・充実を図っていききたい」と今後の抱負を語っています。

東由利町スポーツ祭 得点一覧

		トラップ&フイールド	ゲートボール	グラウンドゴルフ	ペタンク	合計	順位
黒 測	大 吹 川	12				12	
	地 下 ノ 沢		5			5	
	黒 測 沢						
	蓼 沢	34				34	
	向 田	42				42	12
田 代	智 者 鶴						
	泡 ノ 測						
	高 下 屋	27	21			48	10
	時 雨 山	27	11	5	21	64	9
	田 代	12	11	5	8	36	
館	石 高	17	24	5	21	67	8
	袖 山	12	44	20	8	84	6
	家 ノ 下						
	下 小 路	9	11	5	8	33	
	宇 戸 坂	6	8			14	
合	館 西	42				42	12
	八 日 町						
	五 海 保	9				9	
	山 崎	12				12	
	久 保	12				12	
老 方	板 戸						
	松 柴	12				12	
	新 沢						
	館 合 新 田	17	11			28	
	須 郷 田	37				37	
蔵	新 町	22	24	30	21	97	4
	横 小 路	12	24			36	
	上 通	9	11			20	
	中 通	9				9	
	下 通	57	34	15	8	114	3
法 内	湯 出 野		36			36	
	寺 田	12	8			20	
	茂 沢・祝 沢	44				44	11
	上 里						
	横 渡 館	42	11	5	21	79	7
蔵	岩 館	37		5		42	12
	蔵 新 田	57	21	25	31	134	2
	蔵 新 島	9	34	10	41	94	5
	宮 ノ 前	32				32	
	黒 野 田	12	8			20	
宿	新 処 前	12	5			17	
	十 二 ノ		8			8	
	桂 台		11			11	
	小 倉	32	11			43	
	中 ノ 沢						
宿	高 村		11			11	
	大 琴	52	44	35	21	152	1
	舟 木	12	8			20	
	高 屋						
	土 場 沢						
宿	下 吹						
	宿		8			8	
	大 台						
	沼						
	杉 森						
奥	畑 村						
	奥 ケ 沢						

秋の八塩山を満喫



▲さわやかな秋の登山を楽しむ参加者

10月22日、住吉分館が秋の八塩登山を実施。10余人が参加しました。山頂は紅葉が見頃で、しかも好天にも恵まれ、さわやかな秋の登山を満喫しました。

キノコの最盛期とあって参加者らは頂上の林の中にも進入、ナメコなど天然のキノコ採りも楽しみました。

大琴、蔵新田が優勝



▲快適に行われたグラウンドゴルフ

町スポーツ祭の第三弾、グラウンドゴルフ・ペタンク大会を10月9日八塩いこいの森オートキャンプ場周辺で開催。12自治会、250人余りが参加し秋空の下快適なプレーを繰り広げました。

結果はグラウンドゴルフで大琴、ペタンクで蔵新田が優勝を果たしました。

10月

公民館行事ニュース



分館長二人が受賞

本荘市由利郡公民館大会が十月十二日本荘市のアクアパルで開かれ、席上公民館功労者として佐々木雅廣分館長、遠藤良夫分館長が同連合会長から表彰されました。

4名オーストラリアへ

町民海外研修の参加者に四人が決定。今月十六日オーストラリア七日間の旅に出発します。この研修は大内、南外、千畑、本町の四町村合同で実



遠藤 良夫さん



佐々木雅廣さん

たことが評価されました。また遠藤さんは昭和五十年から二十五五年間にわたり法内分館役員として活躍、創意工夫された地域住民総参加の事業を展開していることが評価されました。



▲旅行社から渡航について説明を受ける本町参加者

施するもので、各町村からあわせて十八人が参加、シドニーやアデレードで福祉事情を学びます。本町の参加者は次のとおりで、いずれも海外渡航は初めてです。

小松幸生さん(寺田)
高沢 稔さん(黒測)
梅津美穂さん(大琴)
工藤智恵さん(野田)
同研修は今年度で終了する予定です。

堆肥処理施設

用地費等を補正

第九回議会臨時会

第九回議会臨時会が十月二十日に招集され、専決処分 of 報告一件に続き、一般会計補正予算案を原案どおり可決しました。

■報告第一号 工事請負変更契約締結の専決処分

平成十二年六月七日に議決を経た、農業集落排水緊急整備事業の工事請負契約額を変更。既契約額「六千五百十万円」を「六千五百四十一万七千円」に改めたもの。

■議案第一号 平成十二年度東由利町一般会計補正予算（第四号）

平成十二年度東由利町一般会計の歳入歳出予算にそれぞれ千五百九十九千円を追加し、予算総額を四十億三千八万七千円としたもの。主な歳出補正予算の内訳は次のとおり。

▼堆肥処理施設用地取得関連費一千五十八万二千円 ▼パークゴルフ場関連四百十六万円

ちびっこ大集合

元気にすくすく
育ってま〜す

3歳児健診から

むし歯のなかった子には
マークがついて
います



畠山 莉奈ちゃん
下通（英吉さん）



佐藤 銀平くん
下通（秀俊さん）



遠藤 彩香ちゃん
宿（育英さん）



小野 政貴くん
袖山（正志さん）



高橋みさとちゃん
宇戸坂（勝義さん）



遠藤 凌くん
新処（賢志さん）



佐藤 岬くん
下小屋（悦郎さん）



畠山 千穂ちゃん
上通（成春さん）



工藤 瑞貴ちゃん
山崎（清さん）



長谷山 諒くん
時雨山（宗市さん）



高橋 彩ちゃん
新町（邦夫さん）



佐々木友恵ちゃん
新町（明さん）



畑山 元輝くん
新田（次郎さん）



鍛崎 瑞歩ちゃん
久保（和博さん）

2歳児 健診から



遠藤 薫ちゃん
宇戸坂 (信弘さん)



小野 莉歩ちゃん
館合新田 (新一さ)



畠山 愛望ちゃん
蔵 (鋼さん)



鍛崎ふうかちゃん
松柴 (正人さん)



佐藤絵里花ちゃん
八日町 (博敦さん)



畠山 真奈ちゃん
下通 (英吉さん)



大沼 千聖ちゃん
蔵新田 (聡さん)

愛の輪く献血をありがとう

九月二十五日 (敬称略)

秋田ルビコン前

《四〇〇cc》

小松正義 (新町) 高橋由喜江 (五海保)

遠藤由美子 (小倉) 堀川芳秀 (新町)

吉田幸実 (十文字町) 遠藤羊子

(小倉)

《二〇〇cc》

小松久仁恵 (家ノ下) 阿部志保子 (十

二ノ前) 小野一子 (宿) 杉野文子 (横

渡) 八嶋俊子 (黒淵) 三浦純子 (本荘

市) 伊東ユミ子 (館西)

役場前

《四〇〇cc》

鈴木政雄 (袖山) 工藤良 (新処) 猪股

寿和 (本荘市) 小松貢治 (館合新田)

高沢稔 (黒淵) 遠藤克幸 (蔵新田) 高

橋和幸 (羽後町) 遠藤哲也 (館西) 佐
藤和広 (蔵) 鈴木政也 (袖山) 工藤恵
(中ノ沢) 小松聖明 (須郷田) 小松信記
(蔵) 小松正二 (下小路) 小松達也 (船
木) 佐々木信幸 (大琴) 佐藤公男 (智
者鶴)

《二〇〇cc》

浅田一夫 (船木) 高橋一心 (五海保)

小野信子 (上里)

本荘高校下郷分校前

《二〇〇cc》

遠藤友和 (五海保) 遠藤吉治 (蔵) 遠

藤良恵 (新町) 遠藤貴恵 (新処) 畠山

明子 (下通) 畠山貴子 (上通) 今野大

輔 (新町) 遠藤洋昌 (桂台) 長谷山智

昭 (船木) 阿部康幸 (大琴) 畠山洋幸

(石高) 押切信人 (新町) 佐藤沙代 (新

沢) 斉藤芳徳 (本荘市) 正木和香子

(西目町)

町長日記

欧州三国の 山岳地帯に学ぶ

九月下旬から十月月上旬にか
け、欧州山村地域の環境と定住
化問題の現況調査を目的に、全
国山村振興連盟主催の視察研修
に参加し、フランスの農業地帯、
スイスの山岳地域、オーストリ
アの農村を巡りそれぞれの国の農業の在り
方を目の当たりにしてきました。

いま欧州はEUとして国境も取り払い、
通貨もユーロを単位として一本化して行く
ということになっていますが、現地を訪れ
てはじめて納得したり、また難儀なことだ
ろうと心配もしたりしたことでした。勿論
我々の心配など織り込み済みではありまし
ようが、駆け足の正味九日間のヨーロッパ
でありました。

改めて、総合的には日本は本当にいい国
だ。と、また思ったことでした。フランス
の日本大使館には、全国からの参加者二十
二名全員が入れないということで、団長と
一行中の町長職に限定した五人で訪問し、
いま我々の最大の関心事にもなっている中
山間地への直接支払いについて説明をして
もらいました。

まず、農業は需要と供給で成り立つもの
ではないという前提で農業施策があるとい
うこと、国民の食エネルギーの確保は農業
の役割であり、そのために国や国民はその
役割をしっかりと認知しているということ
など、農業に対する考え方に歴史を感じさ
せられたことでした。

農家もその役割を十分心得て、その任務
を果たすという意味でさまざまな補助施策
があるということでありました。生産地と
しての不利地には直接支払いは当然のこと
であるし、また農村は農業生産だけでなく
水を守るとか景観の保持など、いわゆる多

面的機能の確保も明確に大きな役割の一つ
にされていることでした。

こういう点をくまると、だから日本は
遅れている。とかの議論になるのですが、
欧州はいま十五もの国が国境が邪魔だとい
うぐらうお互いが近い存在であります。近
いということでもこれまで幾多の紛争があ
り、戦争の歴史がまた欧州の歴史でもある
訳ですが、その際に食糧をどうするかとい
う歴史があったということでもあります。国
境が海であるという我が国とは事情が違う
ことではあります。農業についてはこう
いう国民的合意がしっかりと出来上がって
いることでした。

直接支払いにしてもすでに五十年もの歴
史があることでありました。我が国も今年
から中山間地への直接支払いが始まること
ですが、その考え方には大変参考になった
ことでした。

スイスでは滞在した三日間、雨にたたら
れましたが標高三、〇〇〇mから五、〇〇
〇mの山々を観光地にしてしまう逞しさに
感心させられ、そこにある自然だけでなく
時間もかけたものすごいハードの整備があ
って、全世界から観光客呼び込めること
でもあることを痛感させられました。標高
三、五〇〇mもの山を登るギア式の鉄道や
ロープウェイなどに度肝を抜かれたことで
した。また国民皆兵の実態とか、精神病患
者や自殺率の高さなど、初めて知ること
も大変多かったことです。

しかし、今回もまたびっくりしたことは、
どこに行っても日本からの観光客の多いこ
とでした。こんなに馬力があり好奇心の強
い大和民族だしたら、来るべき二十一世
紀も、日本は世界に冠として存在するだろ
うと強く思ったことでした。ずいぶん雨
にたたられた欧州の山岳地域の視察ではあ
りましたが、大変意義深く学ぶことの多い
研修となりました。

チームワークで準優勝



▲堂々の準優勝に喜びのチーム

大琴野球スポーツ少年団

十月一日、岩城町野球場で第二十回本荘市由利郡小学校クラブ野球大会新人戦の準決勝と決勝が行われ、大琴野球スポーツ少年団が準優勝を収めました。

同少年団は二年生から五年生まで十二人で、春から六年生と一緒に練習してきました。全校児童三十九人という中からの団員編成ですが、六年生の応援を含めたチームワークとファイトで強豪チームの中を勝ち進み、決勝では、由利野球スポーツ少年団に四対五のさよならで惜しくも敗れましたが、堂々の準優勝に輝きました。

太陽チーム全県優勝



▲優勝した太陽チーム

全国選抜ゲートボール大会秋田県予選大会

十月八日、あきたスカイドーム（雄和町）で第十六回全国選抜ゲートボール大会男子の部秋田県予選大会が行われました。本町からはミドルクラスに二チーム、シニアクラスに一チームが出場し、そのうちミドルクラスに出場した太陽チーム（代表 畑山敏さん）が見事優勝しました。

優勝した同チームは六年前に結成されメンバーは七人。過去に本荘市由利郡の大会などで何度か優勝経験がありますが、県大会優勝は今回が初めて。来年五月に岐阜県で行われる全国大会での活躍が期待されます。

アイドルをさがせ!



阿部 史奈ちゃん（新町）
（1歳）

お父さん：樹悦さん
お母さん：真紀さん

お話し：真紀さん

名前の由来は

「お父さんが考えました。特に理由はないのですが、ひびきが良かったのでこの名前にしました」

好きな食べ物

「好き嫌いはありませんが、特にバナナが好物です。食欲旺盛で、時にはお兄ちゃん（薫くん・七歳）よりたくさん食べます。最近では、新聞の折込広告の食べ物写真に夢中になったりもします」

最近のエピソードは

「誕生日に買ってもらったお気に入りのお手押し車を、今日初めて外に出しました。誕生日からずっと雨で外に出す機会がなかったので、今日は大喜びです」

将来はどんな人に

「素直で優しい子に育って欲しいです」

寒空に負けずいっぱいりんごを収穫



▲収穫したリンゴ、ちょっとすっぱいかな

みどり・永慶保育園

十月十八日、紅葉も始まった秋の中、みどり・永慶の両保育園が新町小松茂さんのリンゴ畑を訪ね、姫りんごのりんご狩りを行いました。

この日は雨が降りそうな天気ですが、気温も低く、集まった園児達は寒そうにしていましたが、りんご狩りが始まると元氣いっぱい寒さもどこへやら。大人の胸ぐらにまで実が届く木ですが、園児達には大変な作業。伸び上がったリンゴを採り、手に持った袋いっぱい小さな姫りんごを収穫し、実りの秋を楽しみました。

YG ヤング・ジェネレーション



蔵 阿 部 善 和さん (20)

スポーツが好きで、夏は野球、冬はスキーと活動的な善和君。休日は友達と本荘市や横手市方面にドライブし、服や音楽CDをチェックして過ごすことが多いとのこと。仕事は長谷山施設に勤めて3年目、そのうち友達とゆっくり、鳴子あたりの温泉に行くのが今の夢。ファミリーレストランか24時間営業のコンビニがあれば、夜がもう少し過ごしやすいと希望を語ってくれました。落ち着いた、少しアンニュイな感じの青年でした。

秋のなべっこ遠足往復12キロ

八塩小学校



▲給食では見られない食欲におなべはどこもからっぽ

十月四日、秋晴れのもと八塩小学校の秋の自然教室(遠足)が行われました。

当日は早朝まで降っていた小雨もカラリと上がり、お楽しみのリュックを背負った一年生から六年生までの児童達が、目的地に向かって元気に歩きました。

小学校から八塩ダムまでは片道六キロ。うっすらと紅葉した景色のダムに着くと、グループでお楽しみのなべっこ。カレーや山菜入りうどんなど人気のなべを囲んでおかわりも続出。みんなで励まし合いながら歩いた十二キロ、思い出に残る秋の一日となりました。



▲天気も良くみんな元気に歩きました

学校安全活動で文部大臣表彰

東由利中学校

学校安全活動の推進に功績があったとして、本年度東由利中学校が文部大臣表彰を受けることになりました。

同校は平成九年～十年に学校安全研究指定校に指定されており、この表彰は全国で当該年度に全国で指定された学校の中から、積極的な安全学習への取り組みと成果が認められた学校に与えられるものです。

学校保健関係の個人表彰と合わせ、秋田県からは二人と一校、全国で一三一人三二団体が表彰されます。

表彰式は十一月九日、福岡県北九州市で開催される第五十回全国学校保健研究大会で行われます。

陸上のホープ、今後の活躍に期待

城西大学二年畑山裕美さん(島出身)



▲城西大短大二年生の畑山裕美さん

十月二十二日行われた環日本海新潟駅伝に、本町出身で城西大学二年(埼玉県)の畑山裕美さんが、秋田県代表の主力メンバーとして出場しました。

畑山さんは、本荘高校で陸上部に

入部してから長距離を始め、二年生のときに東北総合体育大会で陸上女子八百メートル大会新記録で優勝。そのあとも国体や全国駅伝など様々な大会に出場。

城西大学に入学した年は、関東大学女子駅伝で五区区間一位、チームは優勝。続く全日本大学女子駅伝では四区を走りチーム準優勝。今年九月に行われた全日本インカレでは一万メートルで六位に入賞しており、まだまだ今後の活躍が期待されます。

鳥海町から

第15回 鳥海町産業文化祭

11月3日(金)～5日(日) 8:30～17:00
鳥海町民会館「紫水館」、町健康広場、
トレーニングセンター
3日 バザー ほか
4日 第10回選抜親善ゲートボール大会
ほか
5日 子供餅つき大会 ほか
鳥海町産業文化祭実行委員会
(鳥海町農林課内) ☎57-2205

第8回交通安全オコジョマラソン大会

11月3日(金) 8:30受付開始
9:30スタート
受付: トレーニングセンター
参加料 学生(小・中・高含む) 1,000円
一般 2,000円
鳥海町陸上競技協会事務局(佐藤)
☎57-2205

岩本公水 歌謡トークショー

11月4日(土) 14:00開場 15:00開演
鳥海町民会館「紫水館」
5周年～一期一会～感謝の心をこめて
鑑賞無料
鳥海町企画観光課 ☎57-2202

金浦町から

金浦町産業文化祭

11月3日(金)～5日(日) 9:00～17:00
(最終日のみ16:00終了)
勤労青少年ホーム、コミュニティセンター
3日(金) 健康づくり講演会 13:30～14:40
演題「笑いと人生」特別講師「三遊亭圓歌」
5日(日) 芸能発表会 11:00開演
金浦町公民館 ☎38-2049

秋田県から

アトリオンオープン11周年記念イベント 「やっぱりいっすな 秋田弁見本市 チャンピオン大会」

11月3日(金) 13:05～15:00
アトリオンイベント広場(地下1階)
「いっすな…秋田は!」をテーマに、トー
ク、寸劇、歌、昔がたりなどで秋田弁の
良さや地域生活・文化のすばらしさを競い
合う

秋田県総合生活文化会館
☎018-836-7802

おとなり情報

～本荘由利の催物などを紹介します～

岩城町から

岩城町文化祭

11月2日(木)～3日(金) 岩城中学校
2日(16:00～19:00)
3日(9:30～15:20)
町内各団体の作品展示
式典(3日 9:20～10:20)
演芸発表(3日 10:30～11:50)
特別公演 ジャッキー吉川と
ニューブルーコメッツ
(3日 13:30～15:20)
岩城町公民館 ☎73-2468

西目町から

三平汁無料試食会

11月3日(金) 12:00～ 道の駅にしめ
西目川で捕れた鮭を使ったあつあつの三
平汁を無料で試食(先着1,000名)
道の駅にしめ ☎33-4260

竹屋茂子ピアノトリオ演奏会

11月11日(土) 13:30開場、14:00開演
西目町民センター「シーガル」
ピアノ 竹屋茂子
ヴァイオリン エーヴェルト・ダーネル
チェロ ヨーゼフ・ボドホルンスキー
入場料 一般1,000円、高校生以下800円、
親子1,500円
(当日券は200円増し)
西目町民センター「シーガル」
☎33-2315

由利町から

ゆりまつり

11月3日(金)～5日(日) 善隣館ほか
3日(金) 13:30 アントニオ古賀氏による文化
講演会
〃 11:00 米すくうべ～大会
その他楽しいイベントや農産物直売など
由利町企画商工課 ☎53-2115

象潟町から

第6回象潟町伝承芸能交流発表会

11月18日(土) 13:30～
象潟町公民館大ホール
町内外の伝承芸能および町内小・中学校
郷土芸能クラブが一堂に会し、日ごろの
活動の成果を発表
象潟町郷土資料館 ☎43-2005

本荘市から

第46回 米まつり

11月3日(金)～5日(日)
市民第2体育館・格技場 ほか
本荘米や農産品の品評会
3000個のおにぎりで作るビッグアート
本荘市農林水産課 ☎24-3329(内線342)

ムジカ・コンパニヤ・ファミリーコンサート

11月11日(土) 18:00開場 18:30開演
本荘ポートプラザ「アクアパル」
4人のプロによる合唱コンサート
入場料 一般2,000円、中・高・学生1,500円
(当日は500円増し)
本荘ポートプラザ「アクアパル」
☎22-5611

ヤングトークバトル in AKITA

「Generationgap 縮めよう大人との距離」
11月5日(日) 13:30～15:30
本荘ポートプラザ「アクアパル」
本荘由利の代表による寸劇や意見発表など
秋田県生活環境文化部県民文化生活課青少年育成班
☎018-860-1552

本荘法人会社団化20周年記念 「安部譲二」講演会

11月12日(日) 14:00 本荘文化会館
演題「たった一度の人生を
無為に過ごさぬために」
ー現代17才少年を考えるー
入場無料
法人会事務局、金融機関、商工会で
整理券配付
(社)本荘法人会 ☎24-3050

矢島町から

産業文化祭・総合美術展・農産品評会

11/1(水)～3(金) 9:00～17:00
矢島町日新館、矢島町屋内運動広場、保健
センター、JA秋田しんせい矢島町支所
矢島町民・矢島町芸文協団体の作品展示、
香川県高松市の物産展、長野県佐久市の絵
画展、矢島ゆかりの方々等の作品展、農産
品の品評会 など
矢島町公民館 ☎56-2203

全町芸能発表会

11月3日(金) 12:00～15:30
矢島町日新館
矢島町芸文協団体等の発表会
矢島町公民館 ☎56-2203

老人医療

老人保健制度ってなに？

70歳になると、今までの医療保険にそのまま加入しながら、誕生日の翌月から老人保健で医療を受けます。ただし、1日（月の初日）が誕生日の人はその月から、また、ねたきりなどの場合は65歳からとなります。

例 4月1日が誕生日 → 4月1日から
4月2日が誕生日 → 翌月の5月1日より



上手なお医者さんのかかり方

- ① かかりつけのお医者さんを持ちましょう
- ② むやみに薬を欲しがるのはやめましょう
- ③ お医者さんには症状を正直に話しましょう
- ④ お医者さんの指示や制限はキチンと守りましょう
- ⑤ ハシゴ（重複）受診はやめましょう
- ⑥ 時間外・休日受診はなるべくさけましょう
- ⑦ 定期的に健康診断を受け、早期発見・早期治療を心がけましょう

問合せ 町民課町民係 69-2117

お医者さんにかかるとき

病院の窓口などで、保険証と医療受給者証を提出します。一部負担金は次のとおりです。

外 来 1日につき530円
1ヶ月に4回を限度として、ひとつの医療機関ごとに支払います。
ただし、医科と歯科では別々に支払います。

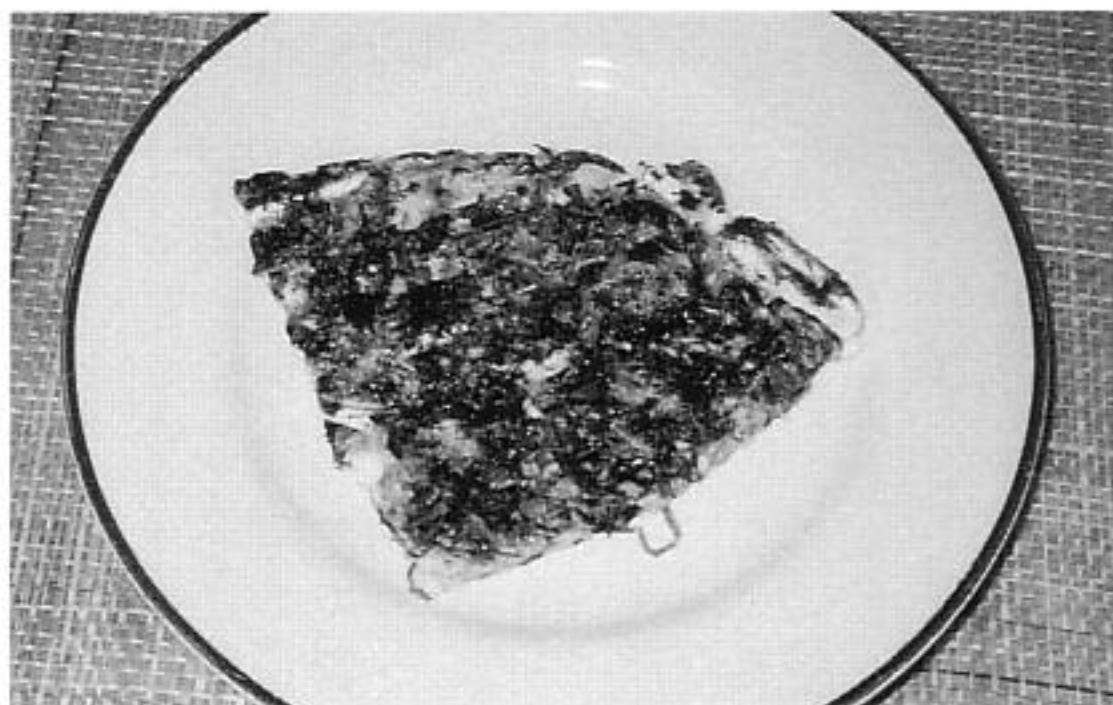
入 院 1日につき1,200円

入院時の食事代 1日当たり760円

※所得の少ない方には、一部負担金の減額や免除もあります。

ヘルシークッキング Vol.6

よりよき生活習慣で病気を予防する



「お好み焼き」(2人前)
《材料》(大・大さじ、小・小さじ)
小麦粉大5杯、いか(さし身)40g、キャベツ40g、なんと10g、きくらげ4g、サラダ油小1杯、あおのり適量、花かつお適量、ソース小1杯半

《作り方》
ボールに小麦粉、千切りにした具を入れ水を加えて混ぜる。フライパンに落とし入れ両面を焼く。最後に花かつおと青のりをかける。

《アドバイス》

肥満は生活習慣病の温床であることをご存じですか？

工夫次第でカロリーを控えたお好み焼きも出来ます。ときにはおやつやお惣菜として、大人も子供も喜ぶこんなメニューはいかがでしょう。

(小松保健婦)

教育委員異動のお知らせ

十月一日付で教育委員の異動があり、長谷山博昭さんが委員長に選任されました。異動の内容と異動後の委員会構成は次のとおりです。
退職された小松順之助さんは、平成四年十月一日から教育委員に就任し、八年間教育委員長として務められました。在任期間中は水辺の教室など自然や環境を考える教育を取り入れるなど、郷土愛を育む活動にも力を入れました。長い間のご尽力に感謝申し上げます。

異動内容

氏 名	異動年月日	摘 要
小 松 順之助	平成12年9月30日	退 任
長谷山 博 昭	平成12年10月1日	新 任

新しい委員会構成

職 名	氏 名	委員任期月日
委 員 長	長谷山 博 昭	平成16年 9月30日
委員長職務代行者	伊 藤 彦 舟	平成13年10月26日
委 員	畠 山 卓 三	平成13年 9月30日
委 員	小 松 正 武	平成15年10月19日
教 育 長	小笠原 諒 治	平成14年 9月30日

続・畜魂

～つれづれの記

第17話「研修旅行」

鈴木龍太郎・文

たり尋ねるものだから、さすがの後藤さんも苦笑するだけになった。しかし別れ際に「こんなに真剣に聞かれたのは初めてだ。真面目な人達だ」と皆を誉めてくれた。

一行が須川温泉で早苗饗をしたその帰り、同行していた男の子の手首が動かなくなるといふ事件が起こった。医院は日曜休診でみてもらえず困った。幸い何かの拍子で自然に治り一同ほっとしたが、皆で心配し快復を喜んだこのときの人々の様子はまるで家族のようで、大台の人々の仲の良さを見せられた一件でもあった。

東由利町の酪農研究会や和牛組合では、年に一度位、研修兼慰安の一日旅行をしている。

■誉められた研修

昭和六十三年七月二十四日、大台和牛組合（当時、小松仁組合長）は、集落の早苗饗を兼ねた研修に、肥育牛で有名な稲川町の後藤庄策氏を訪ねた。

牛を見ながら説明を受けた後、組合の元老格でいつも知識欲旺盛な石綿徳一郎さんが餌のことを聞いた。後藤さんは親切に答えたが、尚も石綿さんが深く質問する。後藤さんも更に詳しく教えてくれる。だが、今こそ肥育の奥義を極めんとするかのように、石綿さんが微に入り細にわ

帰路についたのは午後二時頃だった。

ところが、小岩井農場入口で小松宣夫氏が運転する車のエンジンが不調となり、近くにあった小さな整備工場に修理を依頼した。

一行は隣の食堂に入り、ビールを一本位飲んでいる間に直るだろうと思っていたが、二本が三本になっても直らない。工場では頑固者風の老工場主と孫娘と思われる女性整備士、それに宣夫氏の三人がエンジン相手に悪戦苦闘している。食堂の方では、ただ座っているわけにもゆかず追加注文したりしていた。そのうち修理に時間がかかることがわかって、婦人と年輩者はもう一台の車で先に帰った。

後で聞いたところによると、新品が必要で四方八方連絡したがすぐには入手出来ず、結局工場主が手作りで修理完成。食堂で肩を借りなければ歩けないほどになった人もいる。残留組が東由利に到着したのは夜十時頃であったそうだ。

このときの経費のため、六十三年度決算は大赤字、組合長や遠藤幸男氏（当時副組合長兼会計）は、財政再建に大変苦労したらしい。

なお、老工場主の責任ある仕事ぶりと技術の確かさに感激した宣夫氏が、後日、自家産のあきたこまちを持参しお礼をしたと聞いている。

季節を詠む

（せせらぎ句会）

串焼きの燠を囲みて鮎と酒
墓山に海猫まぎれる秋彼岸
赤とんぼ受診の肩に翅を止め
朝餉前牛飼ふ人の稲架しごと
秋日和嬰をあやして又野良へ
休耕の続く棚田の葛咲きぬ
新米をすくう両手に光あり
里まつり地に伏す獅子の息づかい
周囲広く稔りの秋や道の駅
精根をしばり水漬きの稲掛ける
稲架解けて峡の水音高ぶらす
稲架の上ほちほち灯る山の町
萩咲いてお客出てゆく理髪店
秋桜分け測量の杭深し
墓はみな海向いている浜の秋
腕白を母たしなめて月を待つ
拍手して甘藷掘り上げる園児かな
竜胆のむらさき包む新聞紙
秋うらら海女のほまちの葱畑

中通 小松 順之助
時雨山 吉川 葉子
上里 小野 石路子
横小路 小松 丈介
久保 高橋 典三
高戸屋 小松 敏雄
蔵新田 小笠原 亮子
横渡 高橋 ヒデ子
舟打場 高橋 民治郎
山崎 小松 良子
蔵 阿部 澄子
小倉 遠藤 トミ子
蔵新田 小笠原 トミ
五海保 嶽 石レイ
舟木 大庭 喜右衛門
横小路 宮野 源二郎
蔵新田 小野 貞子
家ノ下 小松 正昭
下小路 小松 メサ

木材輸入量は、平成十年に大きく落ち込みましたが、平成十一年以降は増加してきています。

まず、国内製材工場からの製材品出荷量ですが、昨年は前年よりも四パーセントほど減少し、今年に入ってから一月から五月までに五パーセントほど減少しています。ちなみに平成四年から平成十一年までの製材品出荷量は一、〇〇〇万立方メートル近く減少し、一、八三万立方メートルとなっています。

しかし、国内製材品出荷量と製材品輸入量を加えた製材品供給量は、平成十年には平成四年よりも大幅に減少したものの、平成十一年には二、七八七万立方メートルと前年よりも五パーセント増加し、今年は横ばい傾向にあります。

これによって、製材品供給量に占める製材品輸入量の比率は、平成四年が二五パーセント、平成十年は二九パーセント、平成十一年は三五パーセントと大幅に上昇し、丸太輸入から製材品輸入へと大きく転換してきています。

(町林業懇話会会長 佐藤恒悦氏)

東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	kg当単価
去勢	25	299kg	444,402円	1,414円
雌	12	281kg	407,201円	1,116円
全体	37	293kg	329,700円	1,300円

最高価格

	金額	父	母の父	母の祖父
去勢	562,800円	北国7の8	紋次郎	糸晴波
雌	399,000円	北国7の8	宮桜	益美

十月家畜市場

木材共販市況

(平成十二年十月・平均価格)
四五年生・五五年生

径級	単価(石)	備考
直材30cm以上	5,200~5,500	(10/2)22~34cm(A王)
24~28cm	4,100~4,300	
14~22cm	4,100~4,200	(10/2)
13cm以下		
曲り材		

10/2 14~22cmは量産工場の手当でもあり完売。単価は材質・太さ次第。24cm上は、常連の当用買いにとどまり、全体で25%と低調。
10/18 常連の量産工場の参加がなく、14~22cmが全く売れない状況。

ふるぎと むかしむかし

四一

うばすて山

むかしむかし、「年寄りは無駄飯ばかり喰って何もしないから、六十歳になったら山に捨ててこい」というおふれを出した領主がいました。

六十歳になった母親と暮らしていた息子は、毎日このことで頭をいためていました。「泣く子と地頭には勝てない」と言うが、おふれは守らなくてはなあ」と、母親を背負って泣き泣き山に向かいました。

山奥に入っていく途中背中中の母親は、木の枝を『ポキッ』『ポキッ』と折るので、息子はどうしてかと聞くと、「お前が帰るとき迷わぬようにと思つてな」と答えるのでした。こんなときにまで自分のことを心配している母親に、息子の胸にはいっそ悲しさがこみ上げてくるのでした。

山奥の大木の下に母親を置いて家に帰ってきた息子でしたが、心配で心配でたまらなくなり、戻ってきた山道をかけたして家に連れ帰ってきました。そして、そつと母親を家に隠して暮らすことにしました。

そんなことが過ぎたある日、隣の国から無理難題がふっかけられました。その難問を解けなければすぐに

攻めほろぼすというのです。領主は困って、国中に『灰で縄をなつてきた者に褒美をとらせる』という高札を立て、人々に知恵を求めました。戦になつては大変と人々はあれこれ考えましたが、なかなかいい知恵が浮かびませんでした。

母親を隠した息子も戦が心配で、思いあまつて母親に相談しました。すると母親は、「かたい縄をなつて塩水につけ、よく乾かしてから戸板の上で燃やすといいよ」と言いました。やってみるとなるほど、灰でなつた縄ができました。

息子はその縄をさつそく領主に届けると領主は大喜び。「よくぞ国をすくつてくれた。何でもお前の好きな褒美をとらすぞ」と、ほめたたえるのでした。

若者は、おそろおそろ「実は、先のおふれにより私にも捨てなければならぬ母親がおりましたが、家に隠しておきました。このたびの知恵は、その母親からいただいたものでございます。私は褒美はいりませんが、どうか年寄りを山に捨てることをおやめいただきたいのです」とお願いをしました。

「なるほど、年寄りの考えであつたか。年寄りの知恵がなかったら、この国はほろぼされているところじやつた。宝物となる知恵を持った年寄りをじゃま者扱いにしたとは、さてさてわしの間違ひであつた。」

領主はそう心をあらためると「年寄りを大事にいたわるように」とおふれを出したのでした。

(文と絵 石渡力造氏)





郷土の野草

NO.189

文・写真 小松忠正氏

本州の山裾または林縁(写真は祝沢の道傍)に見られる雌雄異株の多年草で、高さは一・五メートル以上になります。葉は対生で長柄があり三出複葉で質が硬く鋸歯があります。

花期は八月九月で、花は薄紫色をした鐘形で、先の方が四片外側にそり返った可憐な花です。

それぞれに雄しべ雌しべがありますが、雄花では雌しべが、雌花では雄しべが退化しています。牧野図鑑には「灌木であるが草に似ているので草本という」とありますが、私は迷わず草の仲間に入れました。

(注) 灌木・樹木のうち人間の背丈以下のもの。ナンテンやバラなど。

11月▶データ東由利

〈9/1~30〉

() は前月比

住民基本台帳

	月末人口	前月比
男(人)	2,473	3
女(人)	2,632	4
計(人)	5,105	7
世帯数(戸)	1,391	2

	月間異動人数	1月からの累計
出生(人)	6	39
死亡(人)	3	89
転入(人)	8	80
転出(人)	4	135

消防・交通

	月間発生数	1月からの累計
火災出動(件)	1	4
救急出動(件)	13	130
交通事故(件)	1	6
死亡(人)	0	0
傷者(人)	1	6
飲酒運転(件)	0	0
酒気帯び(件)	1	7

戸籍の窓口

(9月21日~10月20日届出)

●お誕生おめでとう

9/21 畠山 樹くん(香織)地下ノ沢

9/29 小野 龍太郎くん(武志)下吹

10/5 佐々木 那由多くん(雅子)大琴

●ごめい福をお祈りいたします

10/4 千葉 重喜さん(49)欽一・子・島

10/10 佐々木松雄さん(84)善一郎・父・大琴

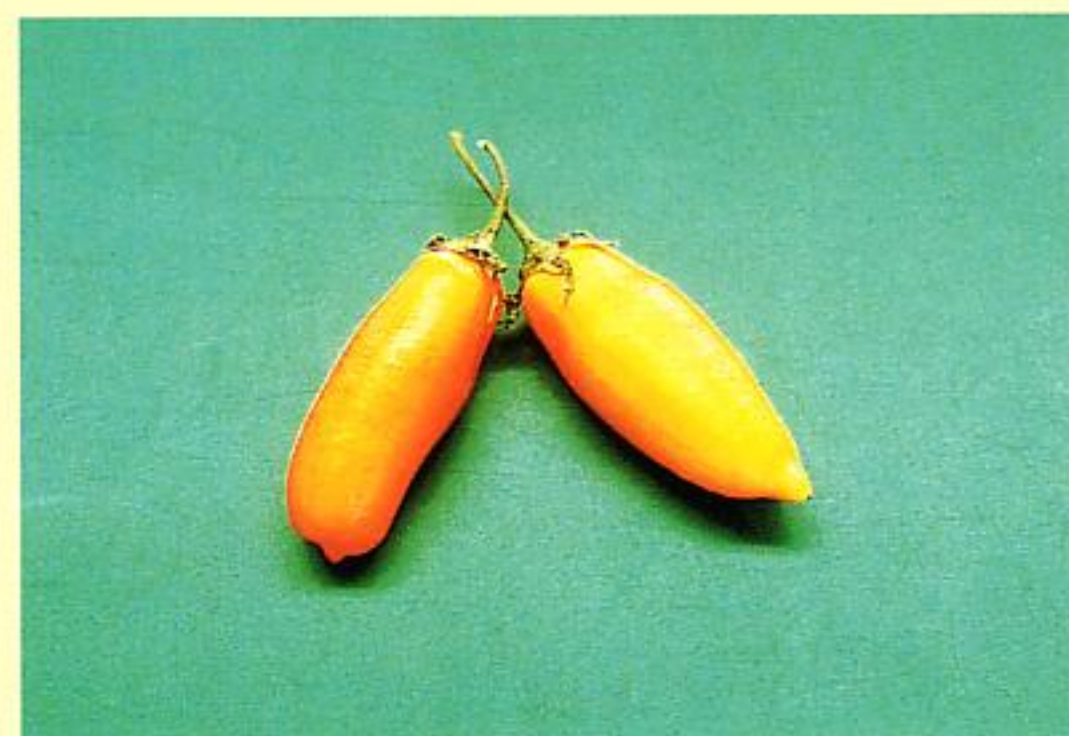
10/10 工藤 サタさん(90)堅之助・母・久保

10/14 三浦 彦次さん(79)イネ・夫・田代

※広報への掲載を希望しない方は、届出の際にお知らせください。

読者からの投稿

投稿者 宇戸坂 菊地 賢治さん



「接ぎ木したら黄色いナスがなりました。これは新種でしょうか？おもしろかったので投稿しました。」

お礼

広報送付謝礼として次の方より金一封をいただきました。ありがとうございます。

小野ミツさん(浜松市)、小野昭二さん(函館市)、遠藤昭作さん(江東区) 社会福祉協議会に次の方よりご芳志が届けられましたのでご紹介いたします。(九月以降)

佐藤達男さん(下通)、大沼武且さん(蔵)、千葉欽一さん(島)、佐々木善一郎さん(大琴)、八嶋保さん(上通)、工藤堅之助さん(久保)



ほっとひといき

◆朝夕はだいぶ寒さを感じるようになり、山から下りてきた紅葉も里に広がっています。あと1ヶ月もすれば東由利町には初雪が降るでしょう。20世紀も残すところあと2ヶ月。シドニーオリンピックや日本シリーズも終わり、2000年のスケジュールが着々と消化され終わりが近づいて来ました。来年のお正月は「新世紀明けましておめでとう(A Happy New Century)」という100年分のあいさつが行き交うかも知れませんね。

11月の行事予定

- 1(水) 合同竣工式・功労者表彰式
- 3(金) 文化の日
- 4(土) 大琴ふるさとまつり (大琴小)
- 6(月) 機能訓練教室
- 7(火) 予防接種(個別・風疹)
- 8(水) 乳児健診
- 14(火) 予防接種(個別・三混)
- 15(水) 食生活改善教室
- 17(金) 成分献血
- 22(水) 福祉と健康のつどい
- 23(木) 勤労感謝の日
- 28(火) 機能訓練教室

